



すえなが歯科医院 ★NEWS PAPER★



2007.9月号 vol.11



コスモスが秋風にゆれる頃とはソレでしたが、夏バテは回復されたでしょうか？
まだまだ日中は猛暑のような暑さではありますが、朝・晩はいくぶんしのぎやすくなった様に感じます。もう秋は目の前ですね。

さて今回は「フッ素」について取り上げてみました。フッ素は何も特別なお薬というわけではなくあらゆる食物にも含まれていますので私達にとってすぐ身近なものにはなります。例えば緑茶・柿・大豆・牛肉などに多く含まれています。



フッ素の効果

どうしてフッ素にはむし歯を防ぐ作用があるの??



お答えします!! 歯の質を強くして、むし歯に対する抵抗性を高める事が出来るのは現在のところフッ素だけしか分かっていません。むし歯を予防する上でのフッ素の作用は次のものがあります。

1. フッ素が歯の表面に付れるとエナメル質の結晶が石更く強いものに変化しむし歯の原因菌に対する抵抗性が高くなります。
2. むし歯にはりかかった部分にはフッ素が取り込まれやすく、その部分を修復する現象(再石灰化)を促し、むし歯の進行をおさえます。
3. むし歯は、むし歯の原因菌をつくりだす酸によって発生しますがフッ素はその菌と作り出す原因菌の働きを弱めます。



当院ではご自宅でも出来るフッ素を販売しております★

<p>ホームジェル</p>  <p>家庭で行うフッ素塗布です。甘味料としてキシリトールを添加しています。1日1回の歯磨きの後に少量、歯ブラシにとり1分間ほど塗布します。</p>	<p>ミラノール</p>  <p>フッ素の水溶液どうがいをする方法です。これを使うのが上手に出来るようになれば使用可能です。</p>	<p>歯みがき剤</p>  <p>幼い頃からお年寄りまでもっとも身近に利用できる方法です。フッ素が配合されている歯磨剤で毎日されて下さい。</p>
--	--	---

何か不明な点がございましたらスタッフへお気軽にお問合せ下さい。



〒852-8003
長崎市旭町6-1 タワーコート3F
TEL 095-834-1188